

トヨタ紡織、「CES2019」に初出展

トヨタ紡織株式会社(本社:愛知県刈谷市、取締役社長:沼 毅)は、2019年1月8日(火)から1月11日(金)に、米国ネバダ州ラスベガス市で開催される「CES 2019」に初出展します。

トヨタ紡織は、世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し続ける会社として、“QUALITY OF TIME AND SPACE” -すべてのモビリティの中で人が過ごす、より上質な時間や空間の提供を目指しています。今回のCES 2019では、モビリティで過ごす移動時間やライフスタイルを変え、モビリティの快適価値を高める数々の提案を、その要素技術とともに紹介します。

1. 主な展示品

1) 車室空間モデル「AceS^{※1} (エーセス)」

自動運転レベル4を想定した車室空間モデル。乗員一人一人に快適を提供する空間です。内装やシートで乗員の生体情報を検知して眠気や感情を推定する技術や、状況に応じて音楽や光などで人の五感を刺激し、安心・快適を提供する技術を紹介します。



2) 車室空間モデル「MOOX^{※2} (ムークス)」

自動運転レベル5を想定した車室空間モデル。ビジネスやエンターテインメントなど様々なサービスで空間活用されることを想定し、自由自在なシートレイアウトで必要な機能を配置した空間です。乗員の行動や状況に応じた五感刺激でサービスの価値を向上します。



2. 出展場所

Tech East、Westgate ブース番号 1901



当社は、2018年、源流である「豊田紡織株式会社」創業から100年を迎えました。次の100年に向けて、成長をより確かなものにするため、様々な取り組みをスタートさせています。トヨタ紡織は、100年先も信頼される企業であり続けるために、自動車産業大変革への新たな挑戦に取り組んでまいります。

CES 出展に関する特設サイト <https://www.toyota-boshoku.com/jp/special/ces2019/>

※1:Active Comfort Engaging Space

※2: MOBILE と BOX を合わせ、移動時間を自在に活用できる個室を意味する造語